



平成26年5月15日

各 位

株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長 小林久之
(JASDAQ コード番号: 6638)
問い合わせ先 取締役管理本部長 小林 修
電話: 0268-64-2281 (代表)

ソルベントインク搭載ワイドフォーマットインクジェットプリンタ

JV300-130/160 の販売開始に関するお知らせ

当社は、サイングラフィックス業界に向けて、ソルベントインク、水性昇華インクが選択可能なインクジェットプリンタ「JV300-130/160」の販売を2014年6月より開始いたしますので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

ソルベントインク搭載ワイドフォーマットインクジェットプリンタ

JV300-130/160

株式会社ミマキエンジニアリング(本社/長野県東御市、代表取締役社長/小林 久之)は、屋外の装飾、ポスター、店舗やイベントの装飾、車両ラッピング等、幅広い用途でお使いいただけ、ソルベントインク、水性昇華インクが選択可能なインクジェットプリンタ「JV300-130/160」の販売を2014年6月より開始いたします。

近年、サイングラフィックス市場において、プリントの品質と速度は共に高いレベルが求められています。JV300は、これまで当社が培った技術を集めた画質の美しさはもちろん、2基をスタガ配列した新開発のプリントヘッドと、乾燥性の良いSS21インクを搭載することで最速105.9 m²/h(※1)のプリント速度を実現、特許を含む技術を盛り込み、突き抜ける速さと、息をのむ美しさを両立させた『New Global Standard』モデルです。さらに、SS21インクでオレンジ、ライトブラックの2色を新開発。オレンジでは幅広い色域による色表現、ライトブラックでは美しいグラデーション、それぞれの特長を活かした高付加価値プリントをご提供いたします。また、水性昇華インクSb53を選択していただくことで昇華転写プリントによるソフトサイン等の作成にもご使用いただけます。 ※1:バナー専用 Super Draft Mode 360×360dpi, 1Pass, Biでプリントした場合

◎概要

- 最速スーパードラフトモード 105.9 m²/h (※1)
『突き抜ける速さ』を実現する技術とインク性能
- 高付加価値を実現する新開発インク
・『SS21』インクでオレンジ、ライトブラックを新開発
- 『息をのむ美しさ』を実現する画質コントロール技術
・新開発『MAPS3』、ミマキ特許『3Way インテリジェントヒーター』
- 「仕事を止めない」連続運転ソリューション
・自動ノズル抜け検出、ノズルリカバリ、イベントメール機能を搭載



◎主な特長

1. 『突き抜ける速さ』を実現する技術とインク性能

クラストップレベルのスピードを当社の技術とインク性能が可能にしました。

1) 新開発ヘッドと吐出技術

新開発のヘッド2基をスタガ配列で配置することで、1往復でプリントできる面積が広がります。インクは色によって比重と粘度が異なりますが、吐出時の波形をコントロールすることでどの色のインクも真円に近い形状で真っ直ぐに吐出することが可能になりました。高い精度でメディアに着弾させることで高画質を実現 (Img.1)。また、高精細なプリントに効果的な最小4plから、高速でプリントする際に力を発揮する最大35plサイズのドロップも正確に着弾させます。高精細で美しいプリントから、生産性を求められる高速プリントまで状況に応じて最適なプリントを可能にします。

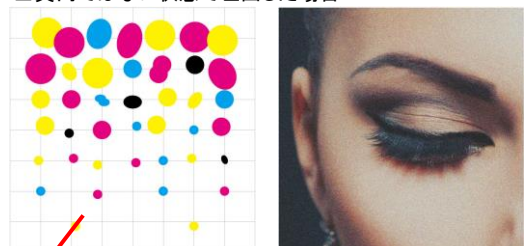
Img.1:インク着弾イメージ

■真円に近い形で吐出した場合



空中を真円に近い形で飛んでいるのでキレイな形で高精度に着弾する

■真円ではない状態で吐出した場合

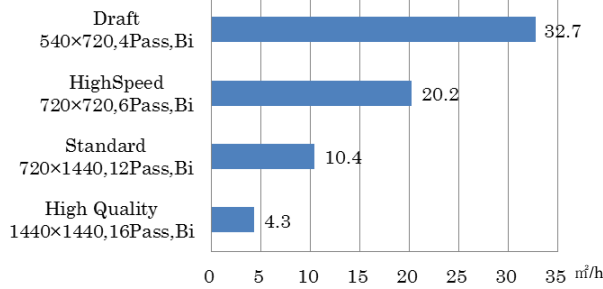


空中で形が崩れる場合、軌道が曲がったり、空中分解を起こして着弾が安定しない

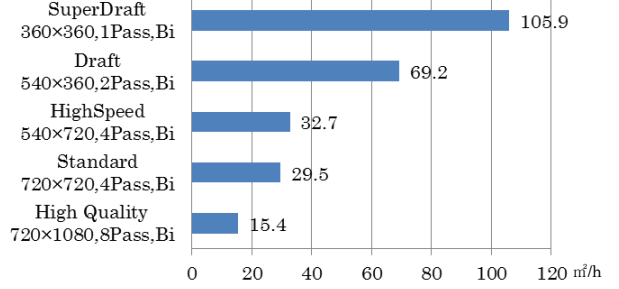
2) 高速プリントを実現する SS21 インク

当社の技術を集結させた溶剤インク『SS21』は、メディアへの浸透性と溶剤の揮発性のバランスが良く高い乾燥性を実現しております。それにより、高速モードで使用してもにじみが発生しにくく、高濃度でのプリントが可能です。乾燥速度が速いので、プリント速度の速いモードでもブロッキング(巻取り時にインクの未乾燥が原因で発生するメディアの張り付き)が起きにくく、高い生産性を可能にします。

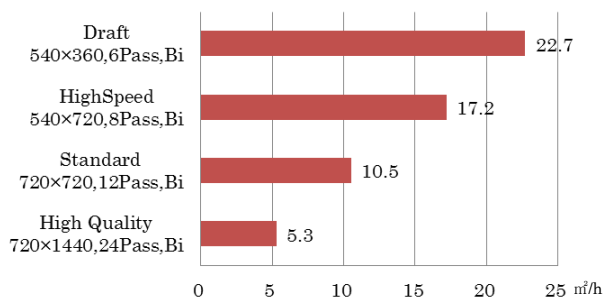
■JV300-160 塩ビ 4色(SS21 インク)



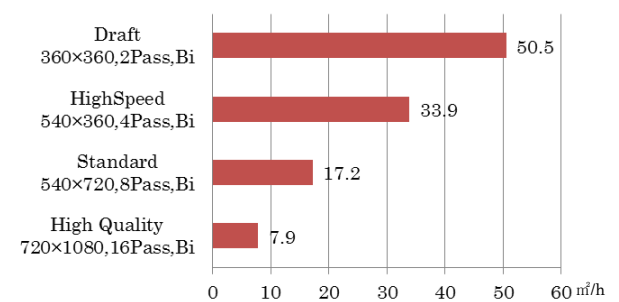
■JV300-160 バナー 4色(SS21 インク)



■JV300-160 塩ビ 8色(SS21 インク)



■JV300-160 バナー 8色(SS21 インク)



2. 高付加価値を実現する溶剤インク『SS21』

1) 新開発インクを加えた多彩なインク種

SS21 インクでは従来のインクに加え、オレンジ、ライトブラックの2種類を新開発し合計9色をご用意いたしました。お仕事に合わせて最適なインクセットをお選びいただけます。

■色数



シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト、オレンジ、ライトブラック

■インクセット

1) スピード重視の4色セット



2) 滑らかな画質で高彩度の8色セット



3) ホワイトの高速プリントを可能 6色+WW セット



2) 色域を広げるオレンジインク

SS21 のオレンジインクを新開発。プロセスカラーとして追加することで PANTONE カラーチャートを近似色で約 92%カバーしました。色域を拡大することで (Img.2)、食品のみずみずしさの表現や、コーポレートカラーの再現が可能になります。

Img.2: オレンジインク追加

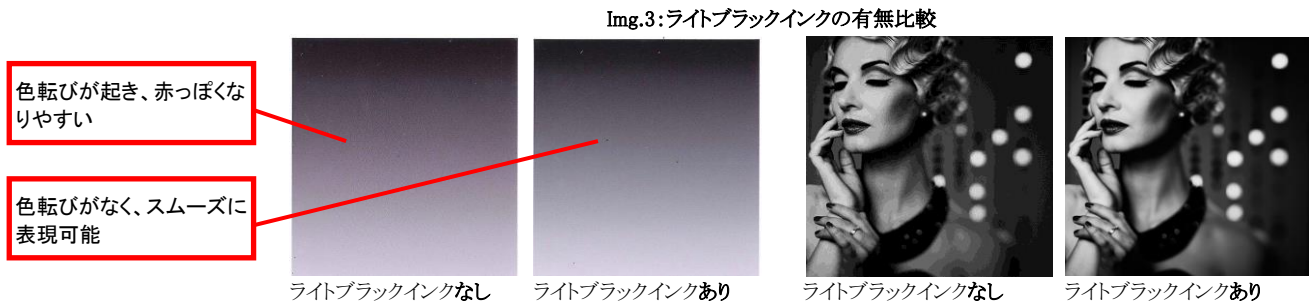
オレンジインクなし

オレンジインクあり



3) モノクロを美しくするライトブラックインク

新開発の SS21 ライトブラックインクは、グレースケール出力時に色転びや、トーンジャンプのないグレーバランスを実現します。モノクロデータの忠実な色再現や、粒状感のない人肌、スムーズなグラデーション表現 (Img.3) が可能になります。



4) カラーインクを引き立てるホワイトインク

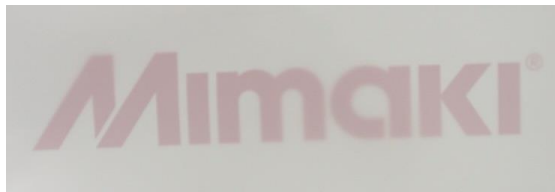
JV300 では従来よりもドロップサイズを大きくすることでホワイトインクを高濃度でプリントできます。高濃度でプリントすることで隠蔽度が向上、透明/有色メディアにカラーをプリントする前の下地としてご使用いただくことで美しい発色を実現します。

Img.4: ホワイト濃度比較

〈比較条件〉

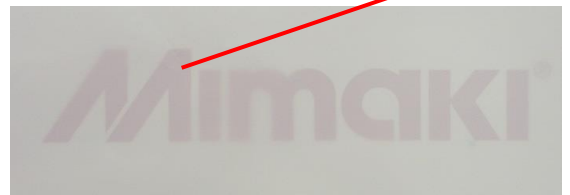
- ホワイトを濃度 200%で単層でプリント。
- 裏面に当社のロゴを置いて裏面からライトアップして可視性を比較。

■ 旧機種



- プリントモード: 720 × 1440 32P Bi
- プリント速度: 0.9 m/h
- 最大ドロップサイズ: 17pl

■ JV300-160



- プリントモード: 720 × 1440 32P Bi
- プリント速度: 3.8 m/h
- 最大ドロップサイズ: 23pl

隠蔽性が上がるので裏面に置いたロゴが見えにくくなる。

3. 高濃度でのプリントが可能な水性昇華インク『Sb53』

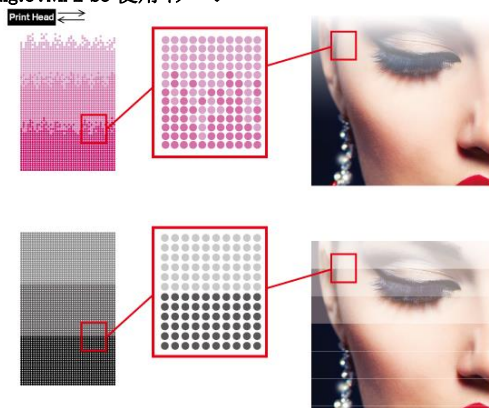
Sb53 インクは発色が良く高濃度でメリハリの効いた色鮮やかなプリントが可能な水性昇華インクです。従来の水性昇華インクより顔料が沈殿しにくいので、色ブレが少なく安定したプリントが可能。アパレル、スポーツユニフォーム、水着などのポリエステル素材へのプリントが行えます。

4. 息をのむ美しさを実現する画質コントロール技術

1) 安定して高画質プリントを可能にする『MAPS3』

通常、パスの境界は直線になるため少しのズレにより、横シマが出るバンディングや、色ムラの原因になります。「MAPS3」(Mimaki Advanced Pass System 3)ではパスの端を拡散させ、境界線をグラデーションのようにする事でバンディングや色ムラの発生を軽減します。

Img.5: MAPS3 使用イメージ



■ MAPS3 あり

パスの境界を拡散させるのでバンディングや色ムラを軽減して美しい画質を実現。

■ MAPS3 なし

パスの境界線でバンディングが発生。横スジや色ムラが入るため著しく画質を損なう。

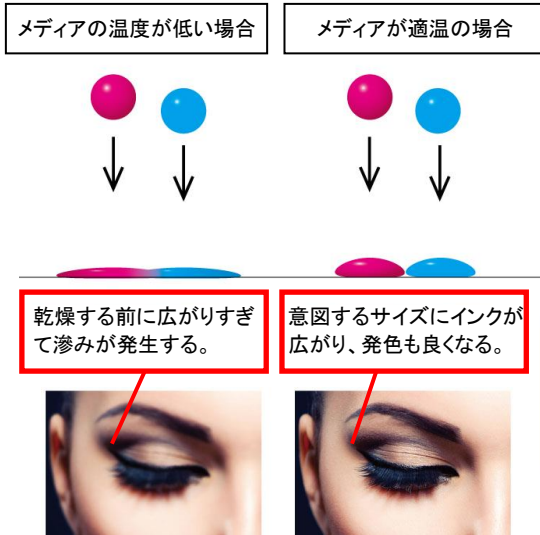
2) 最適なドットサイズを実現する『3Way インテリジェントヒーター』

メディアの温度が適正でないと、高精度で吐出してもインクが最適なサイズで定着しません。(Img.6)

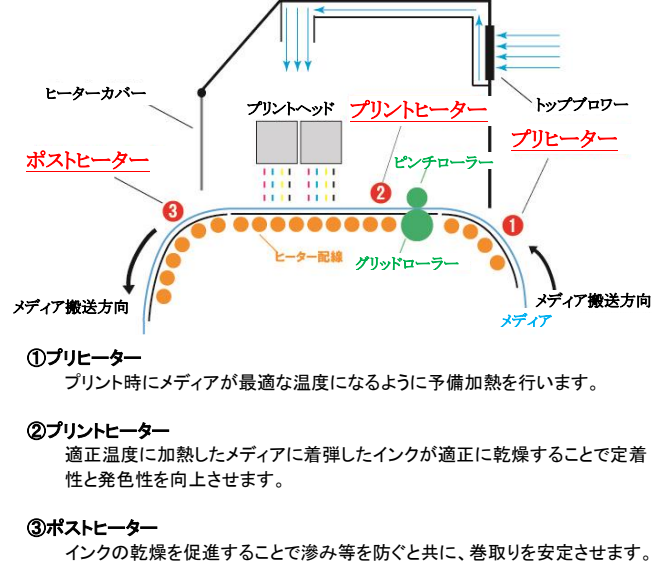
当社が特許を取得している3Way インテリジェントヒーターを搭載し、メディアをプリントに最適な温度に保つことで高画質を実現します。3つそれぞれのヒーターの役割は Img.7 をご参照下さい。

■特許番号■ 日本:4889059 米国:8.444.262 中国:ZL 200910222559.8

Img.6:メディア温度の影響



Img.7:3Way インテリジェントヒーター断面図



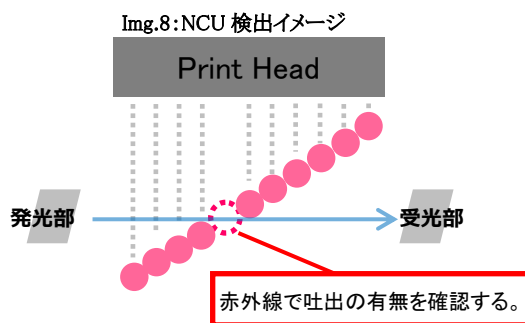
5. 「仕事を止めない」連続運転ソリューション

インクやメディア切れ、ノズル抜け等、生産性を維持するために懸念される項目は多くあります。

JV300 では様々な技術をまとめて連続運転をサポートいたします。

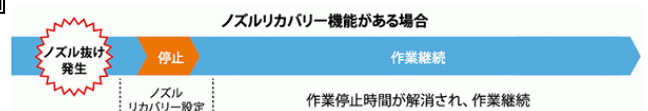
1) 自動でノズル抜けを検出、クリーニングする『NCU (Nozzle Check Unit)』

ノズルの状態をセンサーが自動で検知します。ノズル抜けを発見した場合は自動でクリーニングを実行しノズル抜けの解消を行います (Img.8)。ノズルの状態を確認するタイミングは作図データごと、時間単位で設定が可能。連続出力時のノズル抜け発生以降の出力物を全て無駄にすることを未然に防ぎます。



2) 生産性を維持するための『NRS (Nozzle Recovery System)』

ノズルを洗浄しても改善されないノズルトラブルはサービスマンによる修理が必要になり、それが終わるまではプリンタを停止していました。NRS は問題のあるノズルを別のノズルで代替することプリントを再開できるため、サービスマンの修理を待つことなく生産性を維持できます。



3) プリンタの状態をメールでお知らせする『イベントメール』

ワークの開始、終了、インク、メディア切れ等のエラーによるプリント中断などの情報を、JV300 からインターネット経由(※2)で指定したメールアドレスに直接送信します。プリンタから離れた場所においても、出力状態を把握する事ができます。

※2: インターネット、LAN の環境をご準備いただく必要があります。

Img.9: イベントメールイメージ



◎主な仕様

項目		JV300-130/160 仕様	
		JV300-130	JV300-160
プリントヘッド		オンデマンドピエゾヘッド(2 ヘッドスタガ)	
プリント分解能		360dpi、540dpi、720 dpi、1440 dpi	
最大作図幅		1,361mm	1,610mm
最大メディア幅		1,371mm	1,620mm
インク	種類/色	エコソルベントインク ・SS21 (C,M,Y,K,Lc,Lm,Lk,Or,W) ・BS3 (C,M,Y,K) (新興国向け) ・ES3 (後日対応予定) 水性昇華インク ・Sb53 (Bl,M,Y,K,LBl, Lm)	
	容量	SS21: 440ml インクカートリッジ/2L インクパック (ホワイトは 220ml カートリッジのみ) BS3: 600ml インクパック/2L インクパック Sb53: 440ml インクカートリッジ/2L インクパック ※2L インクパックをご利用いただくには別売りオプションの MBIS3(Mimaki Bulk Ink System3)が必要。	
	循環	MCT (Mimaki Circulation Technology) (ホワイトインクのみ)	
メディア厚み		1. 0mm 以下	
ロール重量		40kg 以下	
適合規格		VCCI クラス A / FCC クラス A / UL 60950 基準 ETL CE マーキング(EMC 指令、低電圧指令、機械指令) / CB 認証 RoHS 対応 / REACH・エナジースター・(CCC 取得予定)/RCM	
インターフェイス		USB 2.0、LAN(イベントメール用)	
電源仕様		単相(AC100~120V / AC200~240V) × 2	
消費電力		2.88kVA (1.44kVA × 2)	
動作環境		使用可能温度: 15°C~30°C、湿度 35~65%Rh (結露なきこと)	
外形寸法(W×D×H)		2,495mm × 700mm × 1,445mm	2,745mm × 700mm × 1,445mm
重量		153.4kg	173.4kg

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります。

◎販売価格 JV300-130 190 万円(税別)
 JV300-160 220 万円(税別)

◎販売開始 2014 年 6 月

◎お問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング
 グローバルマーケティング部 所 康武
 長野県東御市滋野乙 2182-3
 TEL: 0268-64-2281 / FAX: 0268-64-2285